

水産物の市況について(平成30年12月及び平成31年1月)

—東京都中央卸売市場における平成30年12月(平成30年11月21日～平成30年12月20日集計)の市況と、平成31年1月の市況見通し(前月との比較)—

I 平成30年12月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量(水産物の生鮮品、冷凍品及び加工品の合計)は、年末の需要増から前月と比べやや増加したものの、卸売価格(水産物全体の1キログラム当たり平均価格)は、需要を満たす供給が行われなかったことから前月と比べ強含みに推移しました。

II 平成31年1月の主要品目の市況見通し

「まいわし(生鮮品)」

入荷量は、冬季の漁獲が低調なことから12月並みの横ばいと見込まれ、卸売価格は、横ばいと見込まれます。

「さけ・ます(塩蔵品・冷凍品)」

入荷量は、12月からやや減少するものの需要量も減少すると見込まれ、卸売価格は、横ばいと見込まれます。

「さば(生鮮品)」

入荷量は、12月並みの横ばいと見込まれ、卸売価格は、横ばいと見込まれます。

「するめいか(生鮮品・冷凍品)」

入荷量は、生鮮は低調なまま漁期終盤を迎えさらに減少、冷凍は横ばいと見込まれ、卸売価格は、生鮮・冷凍とも高値圏内であることから横ばいに推移すると見込まれます。

「あじ(生鮮品)」

入荷量は、水温が低下することで魚群ができにくくなることから減少すると見込まれ、卸売価格は、強含むと見込まれます。

「まぐろ(冷凍品)」

入荷量は、年末年始の最需要期を過ぎたことから減少するものの需要量も減少すると見込まれ、卸売価格は、横ばいと見込まれます。

凡例(目安)

増減率	入荷量	卸売価格
0～2%	横ばい	横ばい
3～10	やや増加(減少)	やや強(弱)含み
11～20	増加(減少)	強(弱)含み
21～50	かなり増加(減少)	かなり強(弱)含み
51～	大幅に増加(減少)	—

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格(概数)

(単位:千トン、円/kg)

	12月		前月		前々月	
	入荷量	価格	入荷量	価格	入荷量	価格
30年	35	1,270	34	1,116	34	1,063
前年	39	1,212	35	1,136	36	1,055

注1:入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。

注2:入荷量は生鮮品、冷凍品及び加工品の合計。

主要品目の価格

(単位:円/kg、%)

	東京都中央卸売市場卸売価格(概数)			
	12月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
いわし(生鮮品)	465	78	132	108
さけ・ます(平均)	1,172	104	106	125
(ぎんざけ塩蔵品)	1,081	99	105	122
(あきさけ塩蔵品)	921	102	100	136
(ときさけ塩蔵品)	1,558	100	120	134
(べにざけ塩蔵品)	1,545	100	108	123
(さけ類冷凍品)	1,145	105	107	127
さば(生鮮品)	382	81	79	86
するめいか(平均)	870	107	108	154
(生鮮品)	1,005	109	125	175
(冷凍品)	788	112	97	145
あじ(生鮮品)	590	122	105	105
まぐろ(冷凍品)	1,765	116	103	112
(めばち冷凍品)	1,139	99	93	102
(きはだ冷凍品)	1,164	102	87	116
(くろまぐろ冷凍品)	3,879	113	118	106
(みなみまぐろ冷凍品)	2,234	112	110	110

注1:品目により、市場で水産物の大きさ等が異なることから、主要な水産物の価格データを掲載。

注2:12月の価格は1~20日までの速報値を元に算出。平年とは平成25年~29年の加重平均値。

注3:さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、ときさけ、べにざけ及びアトランティックサーモン

注4:さけ・ます(平均)は、さけ・ます類全般の塩蔵品及び冷凍品が含まれる。

注5:まぐろ(冷凍品)は、めばち、きはだ、くろまぐろ及びみなみまぐろが含まれる。

問合せ先:水産庁加工流通課企画調査班

代表 03-3502-8111

内線 6613 北川、山崎

直通 03-3502-4190